

指紋上よりみたる日本人の研究

第 11 編

薩摩半島南部地方人（鹿児島県）の指紋について

鹿児島大学医学部法医学教室（指導：前主任 三上芳雄教授）

福 元 一 男

〔昭和33年5月21日受稿〕

緒 言

指紋については親子間の相関現象に関する研究、人種的差異に関する研究または双生児、ことに一卵双生児に関する研究などから、それが遺伝する形質に属することが判明してから、この方面からする人種人類学的研究もきわめて活発である。

当教室においては三上教授が昭和18年から終戦まで東印度諸島ジャワ島に職務上在任し、従来まで吾人において該地方人の人類学的研究はほとんど不可能の状態にあつたものゝたいし多数の指紋ならびに血液型を調査された成績を中心として、これと日本人、とくに九州日本人のそれと比較してその人類学的研究を企図してきた。而して今日まで指紋に関しては中村および益子は北九州人、馴田は南九州大隅半島人、西は種子島々人、村永は甌島々人との比較について報告している。その結果はジャワ島インドネシア人の指紋の頻度は九州日本人、とくに南九州地方人、さらに種子島ならびに甌島東海岸および鹿島村人に一層近似し、北九州地方人とは大部分の指紋の点において頻差の存することを指摘して、この点南九州日本人、とくに種子島および甌島々人にたいしては多分に南方人の影響が想像され、日本人の人種人類学的研究にたいしてきわめて示唆するところが多いとのべている。

著者も如上教室の研究の一部を分担して著者の居住する南九州薩摩半島南部地方人の指紋の頻度を調査し、教室先輩同様インドネシア人を中心とする南方人の指紋のそれとの比較考察をこゝろみた。ちなみに薩摩半島は九州島の最南端部をしめ、東は鹿児島湾をへだて、大隅半島と相對し、西は甌島を経て支那大陸にのぞみ、南は種子島、奄美大島諸島、琉球列島を経て台湾島につらなり地理的關係などから

も南方地方にたいしてきわめて興味の存するところである。

資 料

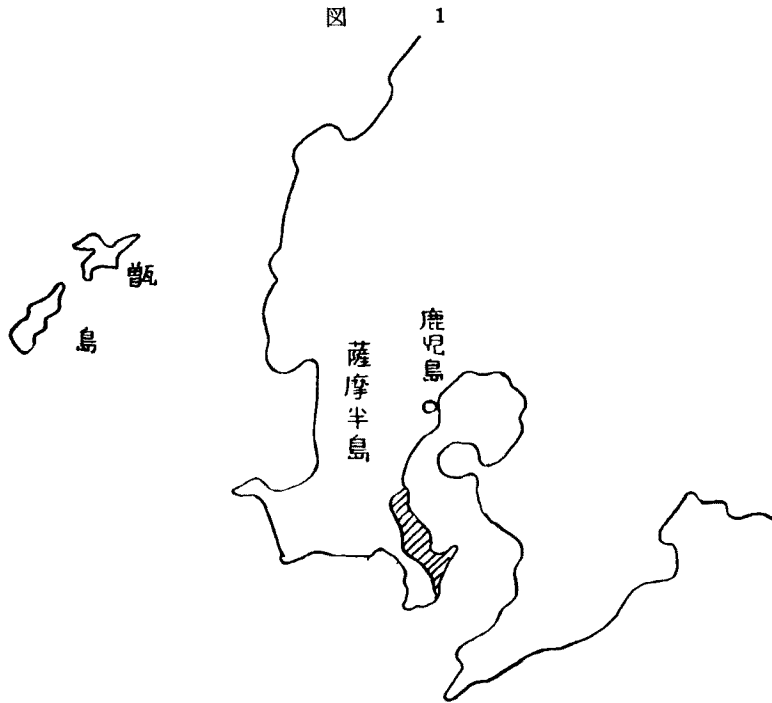
資料は薩摩半島の南端鹿児島県宿務郡（図1）を中心として附近に土着している男子2,740名および女子2,780名、合計5,520名についての指紋であり、主として学童をえらんだ。指紋型はろ紋（a）、甲種蹄状紋（r）、乙種蹄状紋（u）および渦伏紋（w）の4種類に大別した。なおすべての指紋の頻度については正確さを示すために標準誤差を算出して統計値の比較にあつてはその差が有意性なりや否やを統計数理にしたがつて検討した。

成 績

1. 各型指紋の頻度

上記薩摩半島南部地方男女における4種指紋型の各指における出現頻度を表示すると表1（♂）および2（♀）のごとくである。

すなわち、男子の全指における頻度はu型54.6%±0.31%、w型40.7%±0.29%、r型3.2%±0.1%およびa型1.5%±0.07%の順序となり、u型指紋は13.9%±0.42%の頻差をもつてw型指紋の頻度にまさり、r型指紋は1.7%±0.17%の頻差をもつてa型指紋の頻度にまさる。女子においてはu型59.1%±0.29%、w型36.2%±0.28%、r型2.6%±0.09%およびa型2.1%±0.08%の順序となり、u型指紋は22.9%±0.40%の頻差をもつてw型指紋の頻度にまさる。rおよびa型指紋に見掛上前者にまさるがほとんど頻差はみとめられない。而して両性ともにu型指紋の頻度が最高頻度を示すが、u型指紋の頻度は女性に（Diff=4.5%±0.42%）、w型指紋の頻度は男性に（Diff=4.5%±0.40%）



高率を示す。r および a 型指紋は見掛上 r 型指紋は男性に、a 型指紋は女性に頻度が多い。

つぎに薩摩半島南部地方人男女の総指における各型指紋の頻度を九州各地方人のそれと比較表示すると表3(♂)および表4(♀)のごとくである。

すなわち、男子における u 型指紋の頻度は男女ともに村永の調査による甌島東海岸人のそれにもつとも近似して、その間にほとんど頻差はみとめられない。一方大隅半島人

表 1 (♂)

指紋型	指	左	右	計
a	I	0.2±0.03	0.1±0.02	0.2±0.02
	II	0.8±0.07	0.7±0.07	0.7±0.05
	III	0.5±0.06	0.4±0.05	0.4±0.03
	IV	0.1±0.02	0.1±0.02	0.1±0.01
	V	0.1±0.02	0.1±0.02	0.1±0.01
	I-V	1.7±0.01	1.4±0.10	1.5±0.07
r	I	0	0	0
	II	2.7±0.13	3.0±0.14	2.9±0.10
	III	0.3±0.04	0.2±0.03	0.3±0.03
	IV	0	0.1±0.02	0
	V	0	0	0
	I-V	3.0±0.14	3.3±0.15	3.2±0.10
u	I	9.7±0.25	8.4±0.23	9.0±0.17
	II	8.4±0.23	8.3±0.23	8.4±0.16
	III	13.0±0.28	14.0±0.29	13.5±0.20
	IV	9.5±0.25	8.1±0.23	8.8±0.17
	V	15.5±0.30	14.3±0.30	14.9±0.21
	I-V	56.1±0.42	53.1±0.42	54.6±0.30
w	I	9.6±0.25	11.5±0.27	10.5±0.18
	II	8.1±0.23	8.0±0.23	8.1±0.16
	III	6.9±0.20	5.4±0.19	6.2±0.14
	IV	10.1±0.25	11.7±0.27	10.9±0.18
	V	4.5±0.17	5.6±0.19	5.0±0.13
	I-V	39.2±0.41	42.2±0.42	40.7±0.29

表 2 (♀)

指紋型	指	左	右	計
a	I	0.5±0.05	0.3±0.04	0.4±0.04
	II	1.0±0.08	0.9±0.08	1.0±0.05
	III	0.7±0.07	0.3±0.04	0.5±0.04
	IV	0.1±0.02	0.1±0.02	0.1±0.01
	V	0.1±0.02	0.1±0.10	0.1±0.01
	I-V	2.4±0.12	1.7±0.10	2.1±0.08
r	I	0.1±0.02	0	0.1±0.01
	II	2.8±0.13	1.7±0.10	2.2±0.08
	III	0.4±0.05	0.2±0.03	0.3±0.03
	IV	0	0.1±0.02	0
	V	0	0	0
	I-V	3.3±0.15	2.0±0.11	3.6±0.09
u	I	10.1±0.25	10.3±0.2	10.2±0.18
	II	8.5±0.23	59.7±0.25	9.1±0.17
	III	13.1±0.28	15.2±0.30	14.1±0.20
	IV	9.8±0.25	9.4±0.24	9.6±0.17
	V	15.8±0.30	16.3±0.31	16.1±0.21
	I-V	57.3±0.41	60.9±0.41	59.1±0.29
w	I	9.3±0.24	9.3±0.24	9.3±0.17
	II	7.7±0.22	7.7±0.22	7.7±0.15
	III	5.9±0.19	3.8±0.161	4.9±0.13
	IV	10.1±0.29	0.4±0.25	10.2±0.18
	V	4.0±0.16	4.2±0.173	4.1±0.11
	I-V	37.0±0.40	5.4±0.40	36.2±0.28

表 3 (♂)

地 方 名	調査人員	a	r	u	w	報告者
南九州地方人(薩摩半島)	1,370	1.5±0.07	3.2±0.10	54.6±0.30	40.7±0.29	福 元
甌 島 西 海 岸 人	610	1.0±0.12	2.8±0.21	47.6±0.63	48.6±0.61	村 永
北九州地方人(筑後北部)	1,363	1.2±0.09	3.6±0.16	48.0±0.43	47.2±0.43	中 村
種 子 島 々 人	1,400	1.5±0.10	3.1±0.15	51.4±0.41	44.0±0.42	西
南九州地方人(大隅半島)	3,283	2.6±0.09	2.6±0.09	51.8±0.28	43.0±0.27	馴 田
甌 島 東 海 岸 人	3,600	1.2±0.05	3.9±0.60	54.4±0.26	40.5±0.25	村 永

表 4 (♀)

地 方 名	調査人員	a	r	u	w	報告者
南九州地方人(薩摩半島)	1,390	2.1±0.08	2.6±0.09	59.1±0.29	36.2±0.28	福 元
北九州地方人(筑後北部)	1,334	2.0±0.09	2.5±0.14	53.3±0.43	42.5±0.43	中 村
種 子 島 々 人	1,500	1.5±0.10	2.5±1.27	56.0±0.41	40.0±0.40	西
甌 島 西 海 岸 人	570	2.2±0.19	2.9±0.22	55.3±0.65	39.6±0.64	村 永
南九州地方人(大隅半島)	3,600	3.2±0.09	2.0±0.07	55.8±0.26	39.1±0.26	馴 田
甌 島 東 海 岸 人	3,400	2.4±0.08	2.7±0.08	58.7±0.26	36.2±0.26	村 永

(馴田) および種子島々人(西)にたいしても近似するが、大隅半島北部地方人とは男子において2.8%±0.41%女子において3.3%±0.38%の頻差があり、薩摩半島人においてまさる。また北九州地方人(中村)にたいしてはwの頻度がまさり(Diff 6.6%±0.57%, ♀5.8%±0.51%)頻差がみとめられる。w型指紋の頻度はほとんどu型指紋の頻度と同一傾向がみとめられ、甌島東海岸人のそれとはほとんど頻差はみとめられないが北九州地方人とは頻差があり(Diff 6.5%±0.51%, ♀36.0%±0.51%)北九州地方人にまさる。また大隅半島北部地方人とは近似するが同地方人に男子において2.3%±0.40%、女子において2.0%±0.38%の頻差をもつてまさる。aおよびr型指紋の頻度においては男女とも特徴的の頻差はみとめられない。

以上各型指紋頻度から薩摩半島南部地方人について考察すると、4種指紋型中uおよびw型指紋の頻度とも薩摩半島南部地方人はu型指紋の頻度たかく、w型指紋の頻度ひくく、もつとも甌島東海岸人に近似し、さらに大隅半島人および種子島々人に近似し、北九州地方人とは頻差が存在する。

2. 指紋配合式の頻度

つぎに薩摩半島南部地方人男女の指紋配合式から出現頻度のたかい指紋配合式10種をえらび表示すると表5(♂)および6(♀)のごとくである。

すなわち、指紋配合式については男女ともにuw配合式が最高頻度を示してその他にまさり(♂15.8

表 5 (♂)

指紋配合式	左	右	計
u u u u u	16.9±0.71	14.7±0.67	15.8±0.49
w w w w w	11.0±0.56	11.8±0.61	11.4±0.42
w u u u u	7.2±0.49	7.3±0.49	7.2±0.34
w w w w u	7.3±0.49	5.8±0.44	6.6±0.32
u u u w u	4.9±0.41	4.9±0.41	4.9±0.29
u r u u u	5.6±0.43	4.0±0.37	4.8±0.28
w w u w u	3.6±0.35	5.2±0.42	4.4±0.27
w u u w u	3.3±0.34	5.3±0.42	4.3±0.27
w r u u u	2.8±0.31	3.6±0.35	3.2±0.23
w w u w w	2.0±0.26	4.5±0.31	3.2±0.23

表 6 (♀)

指紋配合式	左	右	計
u u u u u	17.5±0.72	22.1±0.78	19.8±0.50
w w w w w	8.6±0.53	9.2±0.54	8.9±0.36
w u u u u	6.3±0.46	7.2±0.49	6.8±0.33
u u u w u	5.2±0.42	6.9±0.48	6.1±0.32
w w w w u	6.9±0.48	4.8±0.40	5.8±0.31
w w u w u	3.1±0.32	6.0±0.44	4.6±0.28
u r u u u	4.8±4.00	3.3±0.33	4.0±0.26
w u u w u	3.4±0.34	4.1±0.37	3.8±0.25
u w u u u	3.3±0.33	3.1±0.31	3.2±0.23
u w u w u	2.7±0.30	3.3±0.33	3.0±0.22

%±0.49%, ♀19.8%±0.50%), ついで男子につい

ては w5, w1 u4, w4 u1, 女子については w5, w1 u4, u3, w1, u1 などがこれにつく。而して性別的に u5 および w5 配合式の頻度を比較すると, u5 配合式は $4.0\% \pm 0.70\%$ の頻差をもつて女性に, w5 配合式は $2.5\% \pm 0.57\%$ の頻差をもつて男性にまさ

る。

つきにこの指紋配合式中最高頻度を示す u5 および w5 配合式の頻度を九州各地方人のそれと比較表示すると表 7 (♂) および 8 (♀) のごとくである。

表 7 (♂)

地 方 名	調 査 人 員	u u u u u	w w w w w	報 告 者
南九州地方人 (薩摩半島)	2,740	15.8±0.49	11.4±0.42	福 元
甌 島 西 海 岸 人	610	11.1±0.89	17.0±1.07	村 永
北九州地方人	1,363	12.0±0.62	15.0±0.68	中 村
南九州地方人 (大隅半島)	3,283	13.6±0.42	12.6±0.41	馴 田
種 子 島 々 人	1,400	14.0±0.66	13.3±0.64	西
甌 島 東 海 岸 人	3,600	14.7±0.41	11.0±0.37	村 永

表 8 (♀)

地 方 名	調 査 人 員	u u u u u	w w w w u	報 告 者
南九州地方人 (薩摩半島)	2,780	19.8±0.50	8.9±0.38	福 元
北九州地方人	1,334	15.4±0.70	11.7±0.62	中 村
北九州地方人	3,095	15.4±0.45	12.9±0.42	益 子
甌 島 西 海 岸 人	570	17.0±1.11	11.5±0.94	村 永
南九州地方人 (大隅半島)	3,600	17.2±0.45	10.0±0.36	馴 田
種 子 島 々 人	1,500	17.6±0.70	10.4±0.56	西
甌 島 東 海 岸 人	3,400	20.2±0.48	9.3±0.35	村 永

すなわち, 男子における薩摩半島南部地方人の u5 配合式の頻度は甌島東海岸にもつとも近似し, ついで種子島々人ならびに大隅半島に近似し, 北九州地方人とは $3.8\% \pm 1.60\%$ の頻差をもつてこれにまさり, w5 配合式の頻度においてもほぼ同様の傾向を示し, 甌島東海岸人にもつとも近似して, 北九州地方人とは $3.6\% \pm 0.80\%$ の頻差をもつてこれにおとる。女子における u5 および w5 配合式の頻度においても男子の場合とほぼ同様にして地九州地方人とは益子の成績においてみると μ_5 の場合は $4.4\% \pm 0.86\%$, w5 の場合は $4.4\% \pm 0.86\%$, w5 の場合は $4.0\% \pm 0.50\%$ の頻差をもつて各優劣がある。

以上 u5 および w5 指紋配合式の頻度から薩摩半島南部地方人について考察すると, 薩摩半島人は男女ともに甌島東海岸人にもつとも近似し, ついで種子島々人ならびに大隅半島人などに接近し, 北九州地方人とはいづれも頻差があり, u5 指紋配合式においてまさり, w5 指紋配合式においておとる。

3. w 型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

つきに薩摩半島南部地方人男女の指紋配合式を w

型指紋をもつて整理して, その頻度を表示すると表 9 (♂) および 10 (♀) のごとくである。

すなわち, 男女における指紋配合式を 3 指以上に w 型指紋をふくむ配合式と 3 指未満のものとの両群において観察すると男子においては $24.0\% \pm 0.89\%$ の頻差をもつて後者に高率を示す。而して w0 および w1 の頻度たかく, ついで w2, w3, w4 および w5 の順序となる。女子においては $33.8\% \pm 0.89\%$ の頻差をもつて後者に高率を示し, ついで男子同様

表 9 (♂)

側	左	右	計
指紋型			
w5	11.0±0.59	11.8±0.61	11.4±0.42
w4	13.0±0.64	13.0±0.64	13.0±0.45
w3	12.3±0.62	14.9±0.68	13.6±0.46
w2	15.4±0.68	16.9±0.71	16.2±0.49
w1	21.6±0.78	21.8±0.78	21.7±0.55
w0	26.7±0.84	21.6±0.78	24.1±0.57
w5+w4+w3	36.3±0.91	39.7±0.93	38.0±0.65
w2+w1+w0	63.7±0.91	60.3±0.93	62.0±0.65

表 10 (♀)

指紋型	側	左	右	計
w5		8.6±0.53	9.2±0.54	8.8±0.37
w4		11.9±0.61	9.6±0.55	10.8±0.41
w3		13.1±0.63	13.9±0.65	13.5±0.45
w2		16.2±0.70	15.7±0.68	16.0±0.49
w1		22.6±0.79	22.2±0.78	22.4±0.55
w0		27.6±0.84	29.4±0.86	28.5±0.60
w5-w4+w3		33.6±0.92	32.7±0.88	33.1±0.63
w2+w1+w0		66.4±0.92	67.3±0.88	66.9±0.63

w0 および w1 の頻度たかく、w2, w3, w4 および w5 の順序となる。女子においては33.8%±0.89%の頻差をもつて後者に高率を示し、ついで男子同様 w0 および w1 の頻度たかく、w2, w3, w4 および w5 の順序となる。

つぎに薩摩半島南部地方人男女の指紋配合式を3指以上に w 型指紋をふくむ配合式と3指未満のものにわけた両群の頻度を九州地方人のそれと比較表示すると表11 (♂) および12 (♀) のごとくである。

表 11 (♂)

地 方 名	調 査 人 員	W0-2	W3-5	報 告 者
薩摩半島南部地方人	2,740	62.0±0.65	38.0±0.65	福 元
甌島東海岸人	3,600	61.9±0.81	38.1±0.81	村 永
種子島々々人	1,400	59.5±0.93	40.5±0.93	西
大隅半島人	3,283	59.2±0.61	40.8±0.61	馴 田
北九州地方人	1,363	52.9±0.96	47.1±0.96	中 村
甌島西海岸人	610	52.7±1.42	47.3±1.42	村 永

表 12 (♀)

地 方 名	調 査 人 員	w0-2	w3-4	報 告 者
薩摩半島南部地方人	2,780	66.9±0.63	33.1±0.63	福 元
甌島東海岸人	3,400	66.8±0.57	33.2±0.57	村 永
種子島々々人	1,500	63.9±0.88	36.1±0.88	西
甌島西海岸人	570	63.5±1.42	36.5±1.42	村 永
大隅半島人	3,600	63.2±0.57	36.8±0.57	馴 田
北九州地方人	1,334	59.1±0.95	40.9±0.95	中 村
北九州地方人	3,095	58.0±0.63	42.0±0.63	益 子

すなわち、男子の w 型指紋を3指以下に有する指紋配合式の頻度は甌島東海岸人にきわめて近似し、ついで種子島々々ならびに大隅半島人となり、北九州地方および甌島西海岸人とは9.1%±1.16%、9.3%±1.56%の頻差をもつて薩摩半島南部地方人にまさる。女子においても甌島東海岸人にもつとも近似し、これとほとんど頻差なく、ついで種子島々々人、大隅半島人となり、北九州人とは中村および益子の各調査においてそれぞれ7.8%±1.14%、8.9%±0.89%の頻差をもつて薩摩半島南部地方人にまさる。

以上 w 型指紋を基準とした指紋配合式の頻度から薩摩半島南部地方人について考察すると、w 指紋を基準とした指紋配合式中3指以下に w 型指紋をふくむ配合式の頻度は男女ともに薩摩半島南部地方

人および甌島東海岸人にもつとも頻度たかくきわめて近似し、ついで種子島々々にちかく、逆に3指以上に w 型指紋をふくむ配合式の頻度は北九州地方人にまさる。

4. 近隣諸民族ならびに諸種族の各型指紋頻度の比較

本研究の主眼は南方民族を中心として、これと九州日本人、とくに薩摩半島南部地方人との人種の混血関係の一端を指紋の遺伝関係においてうかゞわんとするものであるから a, r, u および w 型指紋の頻度について先人により調査された近隣する代表的民族ならびに種族のそれと比較表示してみると表13 (♂) および14 (♀) のごとくである。

表 13 (♂)

民族および種族名	調査人員	a	r	u	w	報告者
満洲人	40,878	2.2±0.02	3.0±0.05	44.1±0.08	50.6±0.08	山本
満蒙人	6,570	2.2±0.06	3.2±0.07	44.3±0.19	50.3±0.20	山本
北支那人	10,460	2.4±0.05	3.0±0.05	45.3±0.15	49.4±0.15	山本
中支那人	1,810	2.8±0.12	3.0±0.13	45.6±0.37	48.7±0.37	山本
甌島西海岸人	610	1.0±0.12	2.8±0.21	47.6±0.63	48.6±0.63	村永
朝鮮人	6,768	2.3±0.06	3.5±0.07	46.2±0.19	48.0±0.19	久保, 他
北九州日本人	1,363	1.2±0.09	3.6±0.16	48.0±0.43	47.2±0.43	中村
山陽地方日本人	3,196	2.1±0.08	3.1±0.09	48.1±0.28	46.7±0.28	草加
日本人(全国)	9,085	2.5±0.05	3.7±0.06	48.8±0.17	45.0±0.17	古瀬
種子島々人	1,400	1.5±0.10	3.1±0.15	51.4±0.41	44.0±0.42	西
大隅半島人	3,283	2.6±0.09	2.6±0.09	51.8±0.28	43.0±0.27	馴田
インドネシア人(ジャワ島)	5,511	1.5±0.05	2.6±0.07	53.3±0.21	42.6±0.21	三上
薩摩半島人	1,370	1.5±0.07	3.2±0.10	54.6±0.30	40.7±0.29	福元
甌島東海岸人	3,600	1.2±0.05	3.9±0.10	54.4±0.26	40.5±0.25	村永
台湾高砂族(パイワン)	840	3.2±0.19	4.3±0.22	53.2±0.55	39.2±0.54	島, 他

表 14 (♀)

民族および種族名	調査人員	a	r	u	w	報告者
満洲人	5,996	4.0±0.08	2.4±0.06	47.8±0.20	45.8±0.20	山本
北支那人	2,100	4.5±0.14	2.4±0.11	48.3±0.34	44.9±0.34	山本
朝鮮人	1,225	3.9±0.18	2.7±0.15	48.5±0.45	44.9±0.45	久保, 他
北九州日本人	3,095	2.0±0.08	2.3±0.09	52.6±0.28	43.1±0.28	益子
山陽地方日本人	1,334	2.0±0.09	2.5±0.14	53.3±0.43	42.2±0.43	中村
	3,360	3.0±0.09	2.4±0.08	52.0±0.27	42.6±0.27	草加
種子島々人	1,500	1.5±0.10	2.5±1.27	56.0±0.41	40.0±0.40	西
甌島西海岸人	570	2.2±0.19	2.9±0.22	55.3±0.65	39.6±0.64	村永
大隅半島人	3,600	3.2±0.09	2.0±0.07	55.8±0.26	39.0±0.26	馴田
薩摩半島南部地方人	1,390	2.1±0.08	2.6±0.09	59.1±0.26	36.2±0.28	福元
甌島東海岸人	3,400	2.4±0.08	2.7±0.08	58.7±0.26	36.2±0.26	村永
インドネシア人(ジャワ島)	3,659	2.2±0.08	1.9±0.07	59.7±0.26	36.2±0.25	三上
台湾高砂族(パイワン)	848	2.3-4.87	2.3-4.60	56.2-64.1	28.7-39.5	久藤, 他

すなわち、薩摩半島南部地方ジャワ島インドネシア人の頻度にもつとも近似し、さらに男子においては台湾高砂族(パイワン族)に類似的頻度を示し女子においては詳細なる報告がないので詳かではない。これによると薩摩半島南部地方人が甌島東海岸人ともにもつともジャワ島インドネシア人ならびに台湾高砂族(パイワン族)に近似することは甌島東海岸の薩摩半島にたいする島嶼的位置とともにきわめて興味のあるところである。而して支那大陸人にたいしては北九州日本人にたいするとともにその頻差はやゝ大であつた。これらの関係を指紋分布点をもつて作製してみると、図2(♂)および3(♀)の

図 2 (♂)

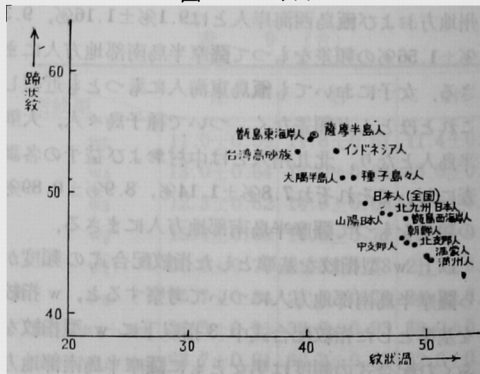
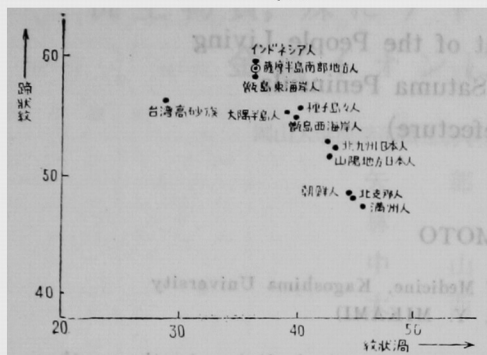


図 3 (♀)



ごとくなり、その関係は一層明瞭となる。

総括ならびに考按

ジャワ島インドネシア人を中心とする南方地方人の指紋の頻度を中心として、これと九州日本人ならびに支那大陸人などのそれと比較して九州日本人の人類学的研究を企図している当教室では中村、益子、馴田、西および村永らにより南九州日本人、種子島々々人および甌島東海岸人は男女ともに南方民族に接近し、北九州日本人は朝鮮人ひいては支那人、満州人などにより接近しているとのべられている。著者は当教室如上研究の一端を分担して南九州日本人として九州島の南端に位する薩摩半島南部地方人男女5,520名について指紋を調査して、これと周囲関係諸民族ならびに種族のそれと比較考察した結果を総括考按するとつぎのごとくである。

1. 薩摩半島南部地方人における4種指紋型の頻度は男子において a 型=1.5%±0.07%, r 型=3.2%±0.10%, u 型=54.6%±0.30%および w 型=40.7%±0.29%, 女子において a 型=2.1%±0.08%, r 型=2.6%±0.09%, u 型=59.1%±0.29%および w 型=36.2%±0.28%である。

2. 薩摩半島南部地方人における指紋配合式頻度のたかい配合式は男子において u₅ (15.8%±0.49%), w₅ (11.4%±0.42%), w₁ u₄ (7.2%±0.34%), w₄ u₁ (6.6%±0.32%)などで、女子において u₅ (19.8%±0.50%), w₅ (8.9%±0.38%), w₁ u₄ (6.8%±0.33%), u₃ w₁ u₁ (6.1%±0.32%)などである。

3. 薩摩半島南部地方人における w 型指紋配合式中 w₀₋₂ 型の頻度は男女ともに w₃₋₅ 型よりもたかく、男子において62.0%±0.65%, 女子において66.9%±0.63%である。

4. 以上の各型指紋の頻度を近隣の代表的民族ならびに種族のそれと比較すると、薩摩半島南部地方人は男女とも u および w 型指紋の頻度においてジャワ島インドネシア人のそれに近似し、さらに男子の頻度よりみると台湾高砂族(パイワン族)に接近する。而して北九州日本人、朝鮮人ひいては支那人、満州人などとは差異がある。九州日本人にたいしては甌島東海岸人にもつとも近似する。

結 論

薩摩半島南部地方人(指宿地方)男女5,520名の指紋の各頻度から同地方人はジャワ島インドネシア人の指紋の頻度を中心とする南方民族のそれに接近し、北九州地方人を介する朝鮮人その他とは差異があり、日本人の人種人類学的研究にたいしてきわめて示唆するところが多い。而して同地方人は甌島東海岸人のそれにもつとも近似する。

稿を終るにのぞみ、三上教授の指導、校閲を謝するとともに指紋採取にさいし種々御便宜をいたゞいた学校当局などにたいして心から感謝する。

主 要 文 献

1) 中村正雄：久留米医誌，12巻，1～3号（昭和24年）
 2) 岩永，白水・久留米医誌，12巻，4～6号（昭和24年）
 3) 池内，岩永・久留米医誌，12巻，7～9号（昭和24年）
 4) 岩永，益子，中尾 久留米医誌，13巻，1～2号（昭和25年），14巻，1～2号，3～4号（昭和26年）
 5) 益子竜介：久留米医誌，13巻，3～4号，7～8号，11～12号（昭和25年），15巻，3～4号（昭和27

年）
 6) 馴田浩章：鹿児島大学医誌，7巻，2～3号（昭和30年）
 7) 西 要：鹿児島大学医誌，8巻，5～6号（昭和32年）
 8) 草加宏直・岡山医誌，第69巻，7号（昭和32年）
 9) 村永兼三：岡山医誌，第69巻，10号（昭和32年）

The Study of the Japanese Race Based on Fingerprint Survey
Report XI On the Fingerprint of the People Living
in the Southern Part of Satuma Peninsula
(Kagoshima Prefecture)

By

Kazuo FUKUMOTO

Department of Legal Medicine, Faculty of Medicine, Kagoshima University
(Director: Prof. Y. MIKAMI)

1. I took 5,520 (2,740 males and 2,780 females) of the people living in the southern part of Satuma Peninsula as examples of the southern Kyushu inhabitants from among all the Japanese of Kyushu to examine the frequency of the occurrence of the four basic fingerprints. And of the four prints in the cast of males, a type is $1.5\% \pm 0.07\%$; r type $3.2\% \pm 0.1\%$; u type $54.6\% \pm 0.30\%$; and w type $40.7\% \pm 0.29\%$. And in the case of females, a type is $2.1\% \pm 0.03\%$, r type $2.6\% \pm 0.09\%$, u type $59.1\% \pm 0.29\%$, and w type $36.2\% \pm 0.28\%$.

2. When the above mentioned frequency of the occurrence of each of the four basic fingerprints is compared with that of the representative one of the Japanese race, it is found that there is a resemblance to east-shore people of Koshikijima (Kagoshima Prefecture), and the Indonesians (Java) as southern race.
